



われら「TANTO」の ジュニアレポーター

安浦小学校4年生のジュニアレポーター発表風景



安浦のむかしを調べる

わたしたちは社会科の勉強で、「山本譲さんの絵」「安浦町史や民話」「教科書」などを使って、田をつくれる土地がなくなかった安浦の昔の人たちが、お米をたくさんとるために、「ため池」や「井手(水路)」「古新開や大新開」などをつくって、土地や田を広げたことを調べました。

昔の安浦の人は生きるために協力して、たくさんの方々と工夫をしているので、わたしたちも見習いたいと思います。

ガンバル 公衛協

みなさんぜひ参加を!!

公衆衛生推進協議会の役割は、住みよい環境づくりの推進と豊かで明るい健康的な生活をするため、コミュニティ活動の必要性をPRし、住民がこの運動に参加するよう働きかけていくことです。

この他、呉市集団検診・献血などの受付業務・各種衛生活動もしています。

今年度は、各地域清掃活動、小学生との水辺教室、水産教室、健康ウォーキングなどの事業を予定していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止や延期になった事業もあります。

誰もが健康に過ごせるためにはみなさんの協力が必要です。チラシなどで情報を発信していますので、積極的な参加をお願いします。



左：寺中さん
右：新城さん



呉市集団検診の手伝い



献血の手伝い

由見さん

まちづくり活動・トピックス

安浦の情報発信は

「やすうら夢工房」!!

安浦町まちづくり協議会のホームページ「やすうら夢工房」のブログで、10年以上記事を書いている安登在住の大下一弘さんは、元安浦市民センター長です。

みんなが元気になる安浦の魅力を、町内外に発信していきたいと普段から自転車で走り回っています。

ブログの強みは過去に遡って検索できること。継続しているおかげで思わぬ発見があり面白いですよ。パソコンやスマホで簡単にアクセスできるので、ぜひご覧ください。また、知らせたいことがあれば、写真とともに「まちづくり協議会」へご連絡ください。ブログ内で紹介したいと思います。

取材中の大下一弘さん



<http://www.yasuura-yumekobo.com/>
(やすうら夢工房ホームページ)



<https://yasuurrayum.exblog.jp/>
(やすうら夢工房ブログ)



TANTO

No:49

発行 令和3年12月10日

安浦町まちづくり協議会 〒737-2516 呉市安浦町中央 4丁目3-2(呉市役所安浦市民センター内) 電話:0823-84-2261(年4回発行)

ぬくもりを伝えて29年

このゆびとまれ



今年4月、まちづくりセンター・ロビーに展示されていた人形たちを見ましたか? 「このゆびとまれ」の人形劇手作り作品です。

このゆびとまれは1992年発足、図書館で絵本の読み聞かせをしていましたが、図書館の移転を機に人形劇にも取り組み、29年も続いています。

現在メンバーは11名、毎週木曜日9時~12時に三津口分館で準備、練習しています。昔話や童話をもとに毎年レパートリーを増やし、保育所・小学校・施設や町外での公演も行っています。

愛嬌のある人形は、牡蠣いかに用発泡スチロール・紙粘土・衣装は古布で、背景は廃材などを利用して。照明や音響設備なども少しずつそろえ、舞台を盛り上げてきました。ずっと続けてこれたのは、子どもたちが喜んでくれること、メンバーが何でもできる仲の良さ!!

読み聞かせは毎月1回保育所・小学校で続いています。フルーツ・ピアノとのコラボや子どもたちにも体験させるなど輪は広がっています。



7匹のこやぎ

おもすびころりん

大きなかぶ

金のがちょう

さるかに合戦

白雪姫

おでかけ情報 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止の場合もあります。)

月	日	時間	会場
12月	まちづくり協議会定例会	12/7 (火) 18:00~19:00	安浦まちづくりセンター
	さわやかクッキング	12/10 (金) 10:00~12:30	安浦保健出張所
	やすうら青空市	12/12 (日) 9:00~11:00	安浦駅前・林田旅館跡地
	安浦友愛大学コーラスクラブリリース30周年記念コンサート	12/18 (土) 14:00~16:00	安浦まちづくりセンター・きらめきホール(13:30開場)
2月	まちづくり協議会定例会	2/1 (火) 18:00~19:00	安浦まちづくりセンター
	さわやかクッキング	2/4 (金) 10:00~12:30	安浦保健出張所
	やすうら青空市	2/13 (日) 9:00~11:00	安浦駅前・林田旅館跡地
	ストレッチング教室	2/15 (火) 10:00~11:30	安浦保健出張所
3月	まちづくり協議会定例会	3/1 (火) 18:00~19:00	安浦まちづくりセンター
	さわやかクッキング	3/4 (金) 10:00~12:30	安浦保健出張所
	被爆ピアノコンサート	3/6 (日) 13:30~15:00	安浦まちづくりセンター・きらめきホール(13:00開場)
	やすうら青空市	3/13 (日) 9:00~11:00	安浦駅前・林田旅館跡地

やすうら 記憶遺産



現在のとんど

小正月、1月15日頃におこなわれる火祭り行事を「とんど」と言います。この火祭りは全国に分布していて、「神明さん」「左義長（さぎちょう）」「サイノカワ」「オサイト」「どんと祭」など各地でその呼び名が異なります。晴れやかなお正月が過ぎると、地域の人々が集まり、長い竹を支柱として上部をひとつにまとめた「とんど」あるいは「神明さん」と当地方では呼ばれる大きな作り物をこしらえます。人々は家に飾った様々なお正月飾りを持ち寄り、田んぼなどで焼きます。かつては、海や河原まで運び出し、焼いたといひます。これは穢（けが）れを集落外へ追いやる塞（さい）の神の行事と一体化した影響と考えられます。安浦の三津口地区に伝承されたとんど祭り歌では疱瘡（ほうそう）神信仰との影響も見られます。この火祭りには、地域によって他の祭りや神様への信仰と一体となったおおらかな面白さがあるのです。現在、安浦地区内では「とんど」が小正月頃におこなわれています。

一年で最も寒い頃、空高く燃え上がる火の力に人々は新年の活力を見出し、同時に、高々と上がる火の粉や煙の行方は神様のいる天上の世界を人々に想起させ、無病息災、家内安全、とくに子どもたちの健やかな健康を願う行事として大切にされています。また、火の浄化という観念から「とんどの火にあたると風邪をひかない」ともいわれています。伝承は古く、ルーツとなる行事は平安時代の絵巻にも描かれ、鎌倉時代に書かれた『徒然草』にも書き残されています。

山本譲が描いた「とんど」の風景が、変わらぬ姿でこれからも、安浦の人々の幸せを守るあたたかな行事として続いていくことを願います。

とんど



季節・旬な情報

バンガラデシュから技能実習生安浦に来る

呉市在住の外国の方々と地域の交流を図ろうと、10月広まちづくりセンターでバンガラデシュの料理教室が行われました。講師を務めたのは、魚釣りやサッカーが大好きなバタンさん(30歳)と、旅行やバドミントンが大好きなカリムさん(23歳)。

二人は南昭和機械工業に勤めており、安浦町に住んでいます。日本語も上手でやわらかい雰囲気の二人から、ふるさとバンガラデシュのことを教えてもらうのは、とてもおすすすめです。安浦に住み続けたいと言ってくれる二人には、あたたかい声かけをしたいですね。



左：バタン・エムディ・ショヘルさん
右：カリム・エリム・シャハダットさん

南薫造記念館・ガーデンコンサート

南薫造記念館では、画伯に関心をもってもらいたいと、各種展示会とお茶会やガーデンコンサート・創作ワークショップ等の関連イベントを年間を通じて計画しています。

11月3日には、市山信子さん(バイオリン)と森川泰介さん(ドラム・パーカッション)の共演によるガーデンコンサートが開催されました。入場予定員20名のところに、80名近くの入場者となり立見ができて大盛況。

圧巻の「無伴奏バイオリンソナタ」や、「秋桜」「枯葉」などの演奏に、瞬く間に予定時間が過ぎ、聴衆からのアンコールが湧いたコンサートでした。



演奏中の市山信子さん(左)と森川泰介さん(右)



聴衆の皆さん



リユース(Reuse)=再利用で地球を守る!!
越山容器株式会社
呉市安浦町水尻1丁目26-18 TEL:0823-84-2288

越山容器株式会社は1969(昭和44)年、広島市中区にて越山千俊氏が、200Lオープンドラム缶の再生を中心に創業しました。現在は安浦において、越山俊彦氏が代表を務め、大阪以西で唯一の再生工場として品質、生産量、出荷量ともにトップの座を占めています。ドラム缶の用途は幅広く、工業用から化学・食品関係まで様々です。

主には自動車メーカーの塗料容器や、食品メーカーの保存容器などとして多種多様に使用されています。

再生工程は出荷までに約15工程あり、約45秒に一本というスピードで美しいドラム缶が仕上がります。

ドラム缶の再利用は一般的になじみがありませんが、ドラム缶を再利用することによりCO₂排出量が削減され、限りある資源を守ることに繋がります。“廃棄より再生”という発想を元に、お客様により良い製品をお届けするべく日々精進されています。今後も業界一の再生ドラム缶メーカーとして成長できるよう、ここ安浦で歩んでいきたいとのことです。



左：西田取締役、中：越山営業課長、右：越山社長



越山容器社屋



再生の塗装工程

営業品目 ドラム缶・ペール缶(新缶、再生缶)
その他・多種あり
販売しますので問い合わせ下さい。

写真でみる今と昔

安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし、懐かしい風景をぜひご覧ください。
※和暦のみ表記

安浦大橋と安浦紡績



昭和30年代初期の写真、現在の晴海大橋より40~50m南側に架かっていた。煙突がある建物は安浦紡績、その奥にある2列の建物が旧安浦中学校である。



安浦紡績や安浦中学校の建物は今は無く、工業地帯から一部はソーラー発電設備に変わった。

野路東小学校



昭和32年の写真、手前の建物が体育館・奥の建物が校舎である。立派な石門が特徴であった。



昭和56年新校舎が完成したが学童減少により、平成23年3月で廃校となり、現安浦小(旧内海小学校)と統合された。